

測る！描く！守る！伝える！

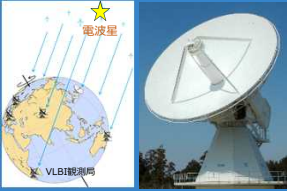
- 国土地理院の4つの役割 -

「国土を測る」

位置の基準（国家座標^{*}）を正確に定めます

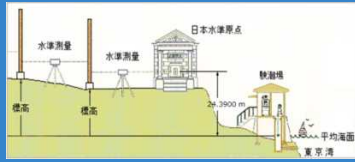
^{*}国家座標：測量法に基づいた緯度、経度、標高など位置の基準

緯度・経度



国際協力で行う観測を基に経度・緯度を正確に求めます。日本列島の位置及び大陸プレートの変位をmm精度で検出します。

高さ



土地の高さ（標高）は、東京湾の平均海面を基準（標高0m）として測られています。

原点数値を測量法施行令で規定



日本経緯度原点（東京都港区）



日本水準原点（東京都千代田区）

測量の基礎となる国家基準点



三角点（約109,000点）



水準点（約17,000点）



電子基準点（約1,300点）



各種測量

i-Construction

電子基準点の中央局（国土地理院）

国家基準点はすべての測量の基礎となります。また、電子基準点のデータは、i-Construction等のための位置情報サービスや地殻変動の監視に利用されています。

「国土を守る」

最新技術を活用して防災対策等を推進します

災害情報の収集

測量用航空機、無人航空機、機動観測機器など、最先端の技術を駆使して情報を収集します。



測量用航空機による空中写真の撮影



無人航空機による動画の撮影



機動観測機器の設置

災害情報の提供

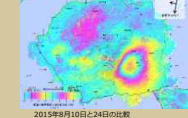


被災直後の鬼怒川（被災箇所）の動画（平成27年9月関東・東北豪雨）

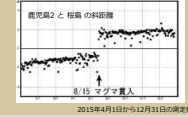


被災前後を比較可能な空中写真

人工衛星による地殻変動解析結果（桜島）



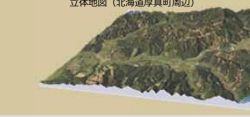
ALOS-2による面的な観測



斜面崩壊・堆積分布図（北海道厚真町周辺）



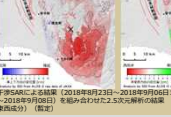
電子基準点による連続的な観測



地震断層モデル



たいち2号干渉SARによる解析



2015年4月1日から12月31日の観測結果

2015年4月1日から12月31日の観測結果

「国土を描く」

すべての地図の基礎となる地図を作ります

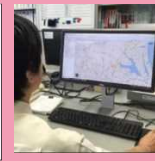
全ての地図の基礎となる地図を整備



我が国の領土を適切に表示するとともに、すべての地図の基礎となる電子国土基本図等の地理空間情報を整備しています。

迅速に地図を更新

道路工事図面



供用開始に合わせて公開
圏央道 五路インター
2015年3月29日 供用開始

高速道路等、重要な項目については施設管理者と連携し、工事図面等をもとに迅速に更新します。

ニーズに合わせてさまざまな媒体で提供

基盤地図情報



地理院地図



数値地図



2万5千分1地形図



インターネット（地理院地図）やDVD（数値地図）、オンライン（電子地形図）、印刷図等、多様な形態で提供しています。

「国土を伝える」

災害の備えとなる防災地理情報等を提供します

防災・減災の「備え」に役立つ「防災地理情報」を提供します

防災地理情報

災害履歴情報

地形特性情報

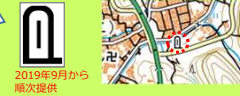


自然災害伝承碑（水雷碑：広島県坂町）

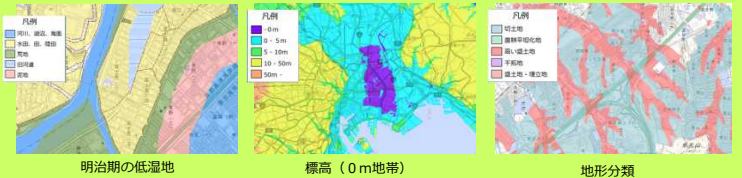
【Web「地理院地図」での表示イメージ】



2019年6月から順次提供



2019年9月から順次提供



明治期の低湿地

標高（0m地帯）

地形分類

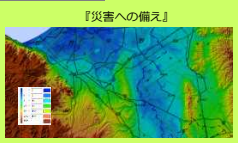
『地理院地図』で正確な日本の姿を伝えます



『地理院地図』



被災前後の比較（北海道胆振東部地震）



自分で作る色別標高図

地理教育や防災教育を支援します



水害 地形分類（自然地形）



評価・分析 水害 地形分類（自然地形）



教材化 水害 地形分類（自然地形）

地理教育に関連する優良事例の普及